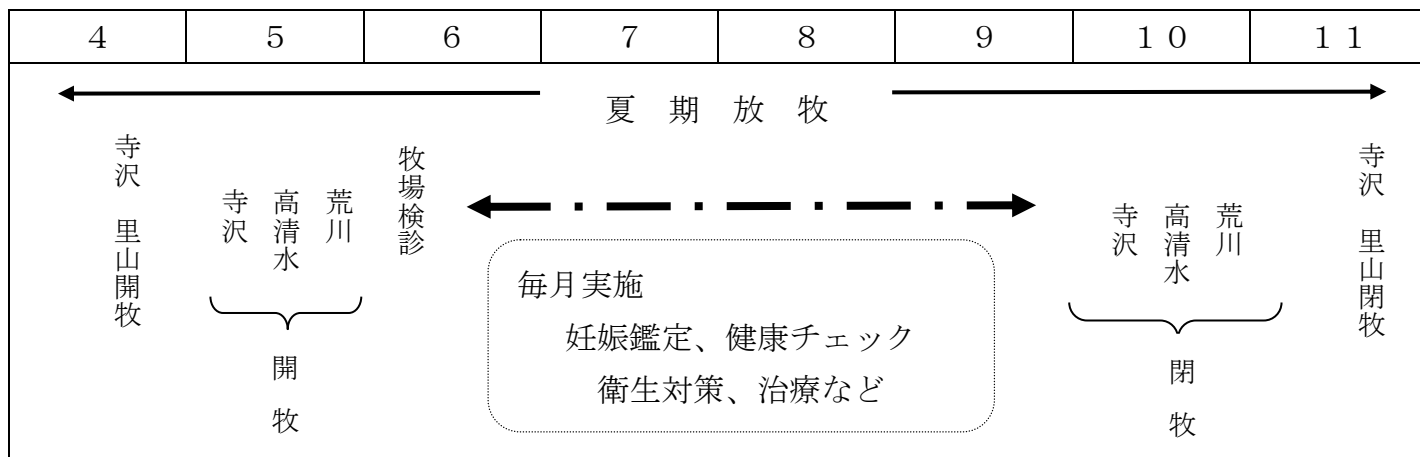


《平成29年度 放牧のご案内》

公共牧場を利用して健康な牛を育てましょう！

～安全安心な農畜産物の第1歩は放牧から～

放牧スケジュール



今年度も遠野市内の公共牧場では家畜の放牧が行われます。公共牧場を利用して健康な牛を育て、家畜の増頭や増収を目指しましょう。なお放牧期間、料金等は下記のとおりとなります。

1. 牧場紹介

種類	牧場名	畜種	計画受入頭数	開牧予定	閉牧予定	摘要
一般放牧	高清水牧場	黒毛	220頭	5月中旬	11月上旬	夏期放牧場
	荒川牧場	黒毛・短角・馬	410頭	5月中旬	11月上旬	夏期放牧場
	寺沢牧場	黒毛・乳用種・馬	200頭	5月中旬	11月上旬	夏期放牧場
	里山	黒毛・乳用種	100頭	4月下旬	閉牧から 11月25日迄	
	石羽根牧場	馬	30頭	11月上旬	翌年5月迄	冬期放牧場
舎飼	大野平キャトル	黒毛	400頭	—	—	通年預託施設
	石羽根キャトル	黒毛	300頭	11月上旬	翌年5月迄	冬期預託施設
	合計		1,660頭			畜種計

注 ①開牧及び閉牧日は気候などにより変更される場合があります。

②受入計画頭数は申込状況により増減することがあります。

③申込状況により放牧場の変更をお願いする場合があります。

④後日、申込に基づき許可証及び検診日程表を送付します。許可証は開牧時に持参願います。

2. 放牧料金

区分	種類	区分	放牧料金
乳用種	一般放牧	生後 10 箇月以上	220 円
肉用牛	一般放牧	生後 10 箇月以上	220 円
	舎飼	哺育管理	600 円
		育成管理	600 円
成牛管理		540 円	
馬	一般放牧	生後 12 ヶ月未満	84 円
		生後 12 ヶ月～24 ヶ月未満	210 円
		生後 24 ヶ月以上	220 円

3. 放牧の条件、注意事項

預託家畜の疾病や怪我等を防止するためにも、以下の条件・事項に十分注意し放牧するようお願いいたします。

- ★ 放牧の馴致として、牧場の環境条件に慣れさせるため舎外管理や自由運動を行いましょ。放牧して急に青草を食べる牛は、下痢やグラスステタニー等のおそれがあるので、十分に青草の飼料になれさせて下さい。
- ★ 万が一の事故等に備えて、預託家畜は家畜共済に必ず加入してください。
- ★ さく蹄（つめ切り）は牛の健康に重要なもので、蹄病等の予防や、放牧効果を上げてよい体形の牛をつくる意味でも、さく蹄をしてから放牧しましょう。
- ★ 家畜個体識別システムの耳標が必ず両耳に装着されていることを確認して預託しましょう。
- ★ ヒフ病や伝染病などの病気を持っている家畜は、ほかの家畜に伝染する恐れがあり、預託は許可されない場合がありますので、治療して健康な体にしてから預託しましょう。
- ★ 放牧利用料金の長期未納者は放牧できない場合があります。
- ★ **黒毛和種・乳用種の放牧は、生後 10 箇月以上の牛からの放牧となります。**
- ★ **昨年度に引き続き、開牧時にグラスステタニー予防注射の実施を予定しております。**

その他、詳細について不明な点がございましたらお問い合わせください。

4. 互助制度積立金について

この制度は、放牧家畜に万一事故が発生した場合の事故見舞金の支給、研修会を開催する場合や牧場検診に係る費用（治療投薬などの費用は除く）の一部を負担することで預託者の負担軽減を図ることを目的とします。互助制度積立金として放牧家畜 1 頭 1 日当たり 5 円を加算して毎月徴収します。

◎放牧の申し込みと問い合わせ

放牧を希望する農家の方は、別紙の申込書に必要事項を記入の上、畜産公社放牧部または J A 支店まで必ず提出をお願いします。提出期限は平成 29 年 4 月 21 日（金）としますのでよろしくお願いたします。